

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	セラミックリボン
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	歯科鑄造用リングライナー
整理番号	1000-000005

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない
健康に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない

シンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
他の危険有害性	製品粉塵(脱落した繊維など)に触れると皮膚、眼、喉や鼻などに一時的なかゆみや痛みを引き起こすことがある。 また、製品粉塵を長期にわたり多量に吸入すると、呼吸器への影響を引き起こす場合がある。

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
ロックワール	73-81	-	-	≥1%	≥1%	非該当	非該当
天然ハルブ	5-8	セルロースとして 65996-61-4	-	非該当	非該当	非該当	非該当
ポリエステル繊維	7-10	25038-59-9	7-1022	非該当	非該当	非該当	非該当
その他(アクリル系合成樹脂、ポリ アクリルアミド系合成樹脂、撥水 剤)	6-10	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合	製品粉塵(脱落したロックワール繊維など)を大量に吸入した場合、直ちに新鮮な空気のもとに移し、口の中を洗浄する。必要があれば医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	製品粉塵(脱落したロックワール繊維など)が皮膚に付着した場合、直ちに流水で洗い流す。痛みなどの異常があれば医師の診察を受けること。
眼に入った場合	製品粉塵(脱落したロックワール繊維など)が眼に入った場合、直ちに流水で洗い流す。コンタクトレンズは直ちにはずす。必要があれば医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	製品粉塵(脱落したロックワール繊維など)を飲み込んだ場合、はき出させ、直ちに良く口を水で洗うこと。もしはき出せないなどの異常があれば、医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、炭酸ガス、泡、粉末などの一般消火剤
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	燃焼条件によっては、一酸化炭素などの有害ガスを発生する可能性がある。
特有の消火方法	情報なし
消火するものの保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣の着用が望ましい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
保護具および緊急措置	情報なし
環境に対する注意事項	情報なし
回収・中和	情報なし
封じ込め及び浄化方法・機材	製品粉塵(脱落したロックウール繊維など)が周辺に飛散した場合、飛散が広がらないように真空掃除機等を用いて清掃し、空容器や袋等に詰めて産業廃棄物として破棄する。 真空掃除機が使用できない場合には、湿潤な状態にし、掃き集めて回収する。回収した製品粉塵(脱落したロックウール繊維など)は空容器や袋等に詰めて産業廃棄物として破棄する。
二次災害防止策	製品粉塵(脱落したロックウール繊維など)をできるかぎり飛散させないようにする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意事項	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、必要に応じて保護具を着用する。 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 製品粉塵(脱落したロックウール繊維など)については、できるだけ吸い込んだり、眼や皮膚に触れたりしないようにする。 「10.安定性及び反応性」を参照。 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。
保管	
保管条件	直射日光を避け、冷所に保管する。
容器包装材料	特になし。オリジナルの包装箱に保管することを推奨する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	主要構成成分として本製品に含有している「ロックウール」に関しては、裁断等の作業を行う場所において、「粉塵障害防止規則」に定められた管理濃度が適用される。
許容濃度	ロックウール 3.0 mg/m ³ (粉塵障害防止規則)
日本産業衛生学会	ロックウール 1繊維/cm ³ (上気道の一時的な炎症として)
ACGIH	ロックウール 1繊維/cm ³ (8時間・時間加重平均) (計数繊維の定義:長さ5µm以上、アスペクト比3以上)
設備対策	飛散による周辺汚染を防止する局所排気・集塵機を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	防塵マスク(取替え式・使い捨て式)。国家検定品が望ましい。
手の保護具	皮手袋等、ロックウール繊維などが貫通しにくい材質の手袋が望ましい。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡(ゴーグルタイプ)が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	専用の作業衣を着用する。作業衣は、襟付きで手首および足首が締まっているものが望ましい。また、保護長靴の着用も望ましい。
衛生対策	情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(シート状)
色	灰色
臭い	なし(僅かに合成樹脂由来の臭いあり)
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
水	ほとんど溶解しない。但し、本品に含有されている合成樹脂系結合剤は高温水によって溶出することがある。
有機溶剤	ほとんど溶解しない。但し、本品に含有されている合成樹脂系結合剤は有機溶剤によって溶出することがある。
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	0.320-0.495 g/cm ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱いは安定。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	水漏れに注意する。
避けるべき材料	通常の手扱いはなし。
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	燃焼条件によっては、危険有害な燃焼副生成物が発生する可能性がある。

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性	
経口	情報なし
経皮	情報なし
吸入	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	情報なし 製品粉塵(脱落した繊維など)に触れると皮膚に一時的なかゆみや痛みを引き起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし 製品粉塵が、眼に一時的な刺激を与えることがある。
呼吸器感受性	情報なし
皮膚感受性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

1 2. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし。本品は水不溶性であるので、通常の状態であれば、土壤中での移動性はない。
オゾン層への有害性	情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 : IMOの規定に従う。 UN No. : 該当しない Proper Shipping Name : - Class : - Packing Group : - 航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。 UN No. : 該当しない Proper Shipping Name : - Class : - Packing Group : -
国内規制	陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。 海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠) 航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)
特別安全対策	転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 直射日光を避けて輸送する。
緊急時応急措置指針番号	—

1 5. 適用法令

化審法	特段規制なし
安衛法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : ロックウール(人造鉱物繊維) (固形物のため、表示は適用除外) 粉塵障害防止規則 : ロックウール(鉱物:別表1の第6号、第8号、第19号)
化管法(PRTR法)	非該当
毒劇法	非該当
消防法	非該当
じん肺法	製品を使用し粉塵が発生する場合別表第1第7号(粉塵作業)に該当 : ロックウール

1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。